

研究課題名	赤芽球癆に対する同種造血幹細胞移植の移植成績についての研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 血液内科 氏名 野口 侑真
研究期間	(西暦) 2024年4月 ~ (西暦) 2025年 3月
研究の意義・目的	<p>後天性赤芽球癆 (PRCA) は稀少疾患であり、本邦の全国調査における発症中央値は66歳であるが、すべての年齢において発症しうる。治療は cyclosporine を中心とする免疫抑制療法が選択されることが多い。免疫抑制療法抵抗性の場合は、定期輸血での対応が安全ではあるが、終生に渡り継続する必要があるため、特に若年者の場合QOLに与える影響は大きい。そこで根治的治療として同種移植が検討されるが、稀少疾患であることから、その移植成績に関する報告は少ない。</p> <p>そこで本邦の全国調査のデータを用いて、後天性赤芽球癆に対する同種移植の成績を後方視的に解析し、本疾患に対する同種移植の有効性とリスクについて把握することは、若年者のPRCA患者に対する治療選択を行う上で極めて意義が大きいと考える。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2008年1月から2021年の間に、16歳以上赤芽球癆患者に行われた初回同種移植の成績について、TRUMPデータベースを用いて後方視的に解析する。
<p>①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>①本研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。使用の際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分に配慮する。研究結果は関係学会での公表を予定しているが、その際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないように留意する。</p> <p>②同種移植を行った赤芽球癆患者の年齢、性別、前処置、ドナーソース、急性・慢性GVHDの有無、生着の有無、転機等について</p> <p>③研究責任者および研究分担者</p> <p>④武蔵野赤十字病院 血液内科 野口侑真</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 血液内科 氏名 野口 侑真</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>